

シニア海外ボランティア 平成23年度秋 分野別要請集

平成23年10月

No.2

農林水産

《 閲 覧 資 料 》

持出禁止

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/333.9
SE
23-2

15361



平成23年度 シニア海外ボランティア秋募集 分野別要請一覧
農林水産

要請番号	国名	指導科目	頁
農林水産(18件)			
SL32411D03	大豆育種	パラグアイ	1
SL30311D10	花き資源の育種	アルゼンチン	2
SL33311D04	花き栽培	ウルグアイ	3
SL22411D10	野菜栽培(温室)	ドミニカ共和国	4
SL04511D01	植物細胞培養	モンゴル	5
SL31811D01	土壌改善	エクアドル	6
SL13011D02	農業開発	トンガ	7
SL31511D01	環境配慮の農業生産技術	コロンビア	8
SL33311D09	ステビア栽培・生産	ウルグアイ	9
SL04811D01	灌漑施設整備	ブータン	10
SL30311D06	農畜産業用地理情報システム	アルゼンチン	11
SL30311D09	農業機械試験・規格化	アルゼンチン	12
SL31811D02	植林計画	エクアドル	13
SL11211D03	水産物流通基盤整備	マーシャル	14
SL06011D05	淡水魚養殖	ネパール	15
SL10611D02	養殖	フィジー	16
SL31511D06	貝類養殖	コロンビア	17
SL31511D04	水産物加工	コロンビア	18

この要請集は平成23年8月末までの各国からの要請を取りまとめたものです。受入国の事情により、募集から選考までの期間に、要請の追加、変更、取消が行われることもあります。追加・変更・取消要請に関する情報については、JICA ボランティアウェブサイトをご覧ください。



<http://www.jocv-info.jica.go.jp/sv/>



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 15 日

要請番号(SL 324 - 11 - D - 03)

調査者名: 大橋 朋広

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
パラグアイ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目 大豆育種			1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2 24 / 2	
	指導科目(英) Soybean Breeding			3 /	

開発課題 貧困層の生計向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 日系農業協同組合中央会 (受入機関名)(英語) Central Agricultural Cooperative NIKKEI
	2) 配属先名 (日本語) 日系農業協同組合中央会 (英語) Central Agricultural Cooperative NIKKEI
	3) 任地 アルトパラナ県イグアス市 首都(アスンシオン)から 東 方向 280 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1962年にパラグアイ各地に入植した日本人移住者の営農の安定と振興を図るために開設されたJICA直営の試験農場は、その後統合され現在のCETAPARとなり、日系人農家に限らず地域農家を対象とした技術支援活動を展開してきた。2010年4月にJICAから日系農協中央会へと移管され、財団として東部地域の技術支援機関としての活動を開始した。過去にJICAからの援助は多数、現在1名のSVが活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイの基幹産業である農業において、主な生産物である大豆は輸出向けに生産されており、パラグアイは世界第4位の大豆輸出国である。近年、特に食用大豆(非遺伝子組換え大豆)の需要は増大しており、日系農業協同組合は日本から多数の引き合いを受けている。これに対し、日系農業協同組合は、市場のニーズに合致した大豆を安定供給し、輸出事業を更に発展させたいと考えている。 現在、CETAPARでは、食用大豆ならびに遺伝子組換え大豆の育種に取り組んでおり、さらなる品質や収量の向上を目的として、ボランティアの要請につながった。
	2) 期待される具体的業務内容 実施中の育種業務に基づいて、下記の事項をスタッフとともに取り組みながら技術的な支援を行う。 1. 栽培適性、品質、多収性、耐病性を重視した育種材料の調査・選定 2. 交配計画 3. 選抜方法(調査方法含む) 4. 効率的な世代促進方法
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験播種機、乾燥機、種子保管用保冷库・フリーザー、水分測定器、種子カウンター等。

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大豆育種の担当スタッフ(男性2名-30代)、大学農学部卒、うち1名本邦技術研修(土壌分析)経験有り。他に補助員2名。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
		()	()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 () () 学歴理由:() ・経験 (実務経験) (10年以上) 経験理由:(大豆に係る深い専門性が求められる)理由:()理由:()

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概 地 況 域	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 8 月 1 日

要請番号(SL 303 - 11 - D - 10)

調査者名: 佐藤睦美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 花き栽培 (コード 1002)	● 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 花き資源の育種			2	24 / 2
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Floricultural Breeding			3	/
年 月 から					

開発課題 自然資源保護

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院(INTA) (受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technology (INTA)
	2) 配属先名 (日本語) 国立農牧技術院 花き研究所 (英語) INTA - Floriculture Institute
	3) 任地 ブエノスアイレス州カステラル市 首都(ブエノスアイレス市)から 北西 方向 30 Km 主要都市(ブエノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、天然資源・環境を保全しながら地域産業開発に関する農牧業の研究開発と共に、生産者への普及を実施している。本研究所は77年に花き農家への技術支援を目的として設立されたJICA直営試験場を04年に国立農牧技術院に移管した施設。同研究所ではこれまで花き栽培の研究と普及に加え99年より在来観賞植物の育種を開始し、伝統的育種とバイオテクノロジーを用いた育種を行っており、幾つかの品種を国内で登記した。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) カステラル(Castelar)市にある本研究所では、JICAの技術支援で在来花きの探索・収集・評価及び育種の技術支援を行い、現在は亜国政府の研究機関として本分野における研究と普及を独自で実施している。しかし花き産業の持続的な発展を図るためには高塩・干ばつなどの環境ストレスに優れた品種の育成技術に欠けており、本環境ストレス耐性を含む新たな品種を創出することを目的とした人材育成が不可欠であることから本SVの要請が提出された。なお、平成23年度から第三国研修「中南米の有用天然植物資源の開発と持続的利用」が開始予定。 http://www.inta.gov.ar	
	2) 期待される具体的業務内容 - 耐乾性・耐塩性を有する花き品種の育種に関する研究計画の立案 - 実験の設計に関連する技術指導 - セミナー、研修・ワークショップなどの開催 - 新たな研究プロジェクトの立案への助言	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 温室(21棟)、培養土の実験室、成長点培養用実験室、分子培養実験室、顕微鏡室等	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 花き研究所のスタッフは39名のうち、17名が技術者。本分野に關係するスタッフは30~40代の男女5名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:()	
	・学歴 (博士) (農学) 学歴理由:(配属先が研究機関で博士が多いため。)	
	・経歴 (実務経験) (15年以上) 経歴理由:(業務上必要)	
	・花き育種経験 理由:(業務上必要)	
	・耐乾・耐塩性育種研究 理由:(業務上必要)	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(温帯) 気温(5 ~ 30) ℃位	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
状況	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○HSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 13 日

要請番号(SL 333 - 11 - D - 04)

調査者名: 赤木幸次

国名	職種/指導科目 (コード 1002)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウルグアイ	職種 花き栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 2
	指導科目 花き栽培			2	/
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Flower Growing			3	/
年 月 日から					

開発課題 地域振興・社会インフラ調備

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) リベラ県庁 (受入機関名)(英語) Rivera Prefectural Office
	2) 配属先名 (日本語) 保健・衛生・環境局 (英語) Health/Hygiene/Environment
	3) 任地 リベラ市 首都(モンテビデオ)から 北東 方向 500 Km 主要都市(リベラ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) リベラ県庁は、5つの部局(土木建築、財務、保健・衛生・環境、社会開発、交通)から成り立っており、住民への公共サービスの提供を行っている。現在の県知事、保健・衛生・環境局長は、JICAの帰国研修員である。これまで、草の根・人間の安全保障無償資金協力で、地域巡回用診療バス、障害者用バスの供与が行われるなど、日本と非常に親密な地方自治体である。年間予算3,700万ドル、県職員1,060人

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 リベラ県は、ごみ処理施設を建設し、ごみの分別処理を行うプロジェクトを始め、分別された生ごみから、有機肥料である堆肥作りが行われている。この堆肥を使用して、果樹・野菜のビニールハウス試験栽培が行われている。更に、県では、現在サンパウロから輸入されている花についても、県内で生産ができるように、堆肥を使用した花きの試験栽培も計画を立てている。しかしながら、花き栽培に関する技術もなく人材もいないため、今回の要請がだされた。試験栽培後は、女性を対象に自立支援のために、花き栽培を推進していく計画である。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 県庁所属の技術者に有機肥料を使用した花き栽培の技術指導を行う。
 ①切花栽培(テポウユリ、トルコキキョウ、ひまわりなど)
 ②有機肥料(堆肥)作成の助言
 2. 女性を対象にした、花き栽培の講習会を開催

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 事務所机、栽培用の道具、ビニールハウス

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 局長: 男性40歳代 技術者グループ: 大卒(農業、生物、獣医 化学) 30~40代	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許()・性別()性別理由:()
 ・学歴()()学歴理由:()
 ・経歴(実務経歴)(10年以上)経歴理由:(高品質な切花栽培の実地指導が必要なため)
 ・切花生産、販売経験者 理由:(実務面での指導が必要なため)
 理由:()

活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度
-----------------------------------	-----	----	------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(温暖) 気温(3~34℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 16 日

要請番号(SL 224 - 11 - D - 10)

調査者名: 松本マツノ

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 野菜栽培 (コード 1003) 指導科目 野菜栽培(温室)	●新規	◎2年	1	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Vegetable Growing(Greenhouse)	○交替 代目	○1年 ○ヶ月	2 3	/ /

開発課題 貧困層の生活向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) ドミニカ農牧林研究庁 (受入機関名)(英語) Dominican Institute of Agriculture and Forestry Research
	2)配属先名 (日本語) 農牧林研究庁北部センター (英語) Dominican Institute of Agriculture and Forestry Research, North Center
	3)任地 ラ・ベガ県コンスタンサ町 首都(サント・ドミンゴ)から 北東 方向 180 Km 主要都市(サント・ドミンゴ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 自治権を持つ研究機関。農牧林に関する農作物の生産、農業技術向上に合わせた土壌・森林保全の研修を実施している。サントドミンゴ本部の下、北部、南部センターがあり、北部センターは4つの研究支所と5つの研究農場を所有している。2004年10月から5年間技術協力プロジェクトが実施され、現在は、そのフォローアップとするボランティア派遣が継続され活動している。年間予算 5,079,000米ドル

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任地は、山間地域(海拔1200m、平均気温18℃)の環境を保全しながら、温室栽培による野菜生産に新しい技術を取り入れ開発を図ろうと点滴灌漑システムを持つ温室を設置した。同施設は北部センターの一研究施設であり、パブリカ(赤)、トマトを5~6ヶ月の期間で生産、試験的に育苗生産(400~500㎡)も始められ、農業従事者は人参を栽培。温室経験者はいるものの経験が浅いことから、指導者の要請が出された。因みに、盆地である同町には日本人移住者が在住し多くは農業に従事している。	
	2)期待される具体的業務内容 山間地域の環境を保全しようと温室(プラスチックハウス/2009年設置)を利用した野菜栽培の技術開発への支援(アドバイス) 1. 温室栽培におけるテクニックやメカニズム等のアドバイス。また、そのプロセスと技術の確立。 2. 消費者の状況をリサーチした新たな野菜栽培。 3. 付加価値をつけた野菜栽培。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 温室(点滴灌漑設備 4800㎡/プラスチックハウス)、育苗床、実験用温室(400~500㎡)	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 実験施設の責任者 農業技師 20代 (山間地域における温室野菜栽培経験) 現場監督 40代、その他(労働者3名) 農業従事者 25人	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 ()・性別 ()性別理由:()	・学歴 (専門学校卒) (農学)学歴理由:(関係者のバランスを配慮)
	・経験 (実務経験) (5年以上)経験理由:(業務を遂行する上で最低限必要理由:()理由:()	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況 気候(温暖冬季少雨気候) 気温(5~24℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○HSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 12 日

要請番号(SL 045 - 11 - D - 01)

調査者名: 深川 登志夫

国名	職種/指導科目 (コード 1005)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 組織培養	○新規 ●交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	24 / 1
	指導科目 植物細胞培養			2	24 / 2
	職種(英) Tissue Culture 指導科目(英) Plant Cell Culture			3	/

開発課題 自然環境の保全と自然資源の適正利用

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育文化科学省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Culture and Science
	2)配属先名 (日本語) モンゴル科学アカデミー生物研究所 植物細胞培養研究室 (英語) Mongolian Academy of Sciences, Inst. of Biology, Plant Cell Culture Labo.
	3)任地 ウランバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) モンゴル科学アカデミー生物研究所は1965年に創立された。一般生物、微生物、バイオテクノロジーの分野に80人以上の科学研究者が従事している。研究者は60以上の専攻論文、研究論文、多くの国の科学雑誌に2,000以上の研究成果を投稿している。今回ボランティアを要請している植物細胞培養研究室は、その10の研究室の一つである。研究室の予算は年間約2700万円。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) この研究室では1988年以来モンゴルにおける植物の細胞組織培養を行っており、現在は「モンゴル薬用植物の細胞組織培養研究」として生息地破壊や不法無差別採集により絶滅危機にある希少薬用植物や木本植物の研究に取り組んでいる。2004年に甘草、ベガナムハルマルの研究を開始し、植物細胞培養とクローン微細繁殖に成功し、いくつかの苗木は温室外に移植することに成功した。また、甘草の植物細胞培養の結果、培養されたバイオマスの中でグリシルリジン酸の含有量を測定した。これら薬用植物の研究成果を発展させるため、現在活動中のシニアボランティアの後任派遣が要請されている。
	2)期待される具体的業務内容 植物細胞、組織培養にかかわる新しい方法や技術の高度な専門知識を要求される研究を促進するため、ボランティアは下記が期待される。 ① 研究員に対する支援及び助言。 ② 研究者、大学の教師、大学生に対するセミナーの開催。 ③ 共同研究の結果を国際ジャーナル・雑誌に発表すること。 ④ モンゴル植物・生物工学の研究者との野外研究旅行、議論、会議に参加する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Spectrophotometer (UV-2102G)、Electromicroscope (Olympus CK2)、Growth chamber (RKJ 1L-60)、など

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究室長 女性 (40代) 同僚 4 人 女性 (20代) 学生 3 人 (モンゴル国際大学)	5)業務使用言語 (訓練言語は上段) モンゴル語 () 英語 ()	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------------------	--	---	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:()
・学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由:(指導に必要)
・経歴 (実務経歴) (15年以上) 経歴理由:(支援・助言に必要)
理由:()
理由:()

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(大陸性気候) 気温(-30~30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
 区域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 15 日

要請番号(SL 318 - 11 - D - 01)	調査者名: 櫻井 国弘
------------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1102)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
エクアドル	職種 土壌肥料	○新規	●2年	1	24 / 1	
	指導科目 土壌改善			○1年	2	24 / 2
	職種(英) Soils and Fertilisers				○ヶ月	3
	指導科目(英) Soil Improvement	3 代目				年 月 から

開発課題 地域社会の開発促進・基礎インフラ整備

1) 受入省庁名(日本語) チンボラソ県地方分権自治政府(県庁)
 (受入機関名)(英語) Decentralized Autonomous Government of The Province of Chimborazo

2) 配属先名 (日本語) チンボラソ県地方分権自治政府(県庁)
 (英語) Decentralized Autonomous Government of The Province of Chimborazo

3) 任地 チンボラソ県リオバンバ市
 首都(キト市)から、南 方向 190 Km
 主要都市(リオバンバ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 当国山岳地域中央部に位置するチンボラソ県は、人口約45万人の60%を先住民が占め、その内の92%は基本的人間ニーズが満たされていない貧困層であると言われている。県庁では、貧困対策(住民の生活向上)を最重要課題とし、インフラ整備、農業生産力の向上、環境保全、組織強化などに取り組んでいる。年間予算約50億円。JICA専門家3名、SV5名が活動中。世銀、KOICAなど国際機関や外国からの援助あり。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 県内山岳部住民の多くは、農業によって生計をたてているが、化学肥料の大量使用や無秩序な伐採による土壌流出等により、農作物の生産高が減少し、農村部の貧困は更に悪化傾向にある。県庁では、農作物生産性向上を施策目標のひとつに掲げているが、同課題内の土壌に関する技術力向上や人材育成が十分でなく、これらに協力するボランティアが要請された。また、土壌分析に必要な資機材利用の利便性と大学の地域への貢献度を高めるため、近隣のチンボラソ工科大学自然資源学部との協働活動も期待されている。前任者は同大学での土壌分析技術向上に寄与すると共に農村部巡回指導を通じ、各地の土壌の調査・分析・改善指導を行っている。

2) 期待される具体的業務内容
 配属先環境部、食料主権部及びチンボラソ工科大学との調整を図りながら以下の活動を行う。
 ①県内指定地での土壌分析を行い、土壌の回復・保全・肥沃化に関する助言を行う。
 ②有機肥料生成に関する助言を行う。
 ③各農村地区の現状に沿った土壌改善に関する助言を行う。
 ④土壌改善を通じ、アンデス農産物(ジャガイモ、キヌア、そら豆など)の生産性向上に協力する。
 ⑤大学において、土壌分析技術の向上に協力する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 可視部紫外部分光光度計、マッフル炉、電子天秤、(チンボラソ工科大学自然資源部内)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 ・環境部長: 男性、40代
 ・食料主権部長: 男性、50代
 ・大学土壌学教官: 男性、50代

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)
 スペイン語 ()
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 スペイン語 (レベル: C)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許()・性別()性別理由:()
 ・学歴(大卒)(農学)学歴理由:(土壌肥料に関する知識が必要)
 ・経歴(実務経験)(10年以上)経歴理由:(調査、分析、改善案策定が必要のため)
 理由:()
 理由:()

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 20 日

要請番号(SL 130 - 11 - D - 02)

調査者名: 井上 雅史

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 農業生産技術 (コード 1903)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 農業開発			2	24 / 2
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Agricultural Development			3	/
年 月 日から					
開発課題 産業振興					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧森林水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food, Forests and Fisheries				
	2) 配属先名 (日本語) 農業食糧森林水産省本局 (英語) Headquarters, Ministry of Agriculture and Food, Forests and Fisheries				
	3) 任地 スクアロファ市コロフォオウ地区 首都(スクアロファ)から 東 方向 1 Km 主要都市(スクアロファ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 受入省庁は農林水産を所管し、「本部・総務・企画・統計」、「研究・開発」、「普及・情報」、「畜産」、「検査」、「女性・青年・地域開発」、「森林」、「離島運営」、「水産」の9部門で構成されている。総正規職員数は240名、年間運営予算は約350万米ドル。現在、前任SVに加え、農産物加工SV1名、水産部門に2名のSVが活動中。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガにおける農業の振興・発展のために、以下の課題に対する早急な取り組みが求められている。 1. 適切な奨励策の提供、輸出農業業界の振興。 2. 気候変動に対応する政策を反映した企画の立案及び遂行。 対応策を具現化していくために、「輸出作物の振興」、「栽培・調整技術のレベルアップ」、「人材育成」を中心とした、総合的な農業開発戦略のアドバイスができる人物が求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・受入省庁の次官及び各部門職員に対して、包括的な戦略策定・開発のためのアドバイスを行う。 ・民間農業業界の農産物輸出に対しアドバイスを行う。 ・上記の目的を遂行するために必要な巡回活動、講義・講習会の企画運営、レポートの作成等を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 活動上必要となる事務用スペース及び機材は受入省庁にて用意される。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 受入省庁内スタッフ ・次官(男性、40代) ・幹部職員(男性・女性、40~50代)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)				
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 () () 学歴理由:() ・経歴 (実務経歴) (10年以上) 経歴理由:(実務に基づく助言と指導が求められるため) 理由:() 理由:()				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(17~30℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄
 受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 21 日

要請番号(SL 315 - 11 - D - 01)
 調査者名: 綿引 純男

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビア	職種 農業生産技術 (コード 1903) 指導科目 環境配慮の農業生産技術	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Agricultural Technology for Environment			2	24 / 2
	3			/	

開発課題 環境調和型社会の実現に向けた取り組み

1) 受入省庁名(日本語) ボゴタ市役所環境局
 (受入機関名)(英語) Municipal Office of Bogota, Secretariat of Environment

2) 配属先名 (日本語) ボゴタ市役所環境局
 (英語) Municipal Office of Bogota, Secretariat of Environment

3) 任地 クンディナマルカ県ボゴタ首都特別区
 首都(ボゴタ市)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ボゴタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 ボゴタ市の緑地、公園、住環境、都市計画全般に係る環境保護や環境整備等の指針作成、企業への行政指導などを担当している。正規職員は134名、契約職員976名、計1,110名(2011年6月現在)。ボランティアの所属する「エコシステムと農村部」は主に環境と農業の両立を目指している。環境局の2011年度予算は、450億ペソ(約20億円)。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 【グループ派遣】ボゴタ首都圏は174,000haの面積を持つが、そのうち75%にあたる122,000haが農村部である。これは世界有数の熱帯雲霧林であり、首都圏への水の供給源の役割を果たしている。そこに住む約50,000人の住民には、熱帯雲霧林の自然資源と共存することが求められている。ボゴタ市役所はこれを支援するため、5つのULATA(農牧環境技術支援グループ)を組織している。しかし、都市部の膨張や廃棄物投棄、金属資源の発掘等様々な問題が絡んでいる。住民側では、6つのULDER(地域農村開発グループ)を組織しており、支援が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
 配属先のエコ・システムと農村部同僚と一緒に、以下の業務を実施する。
 ①6つの地区において、その地区の農産物生産に対し、環境配慮の観点から適切な助言をする。
 ②各地区の農産物の適切な生産技術や加工技術を助言する。
 ③5つのULATA(農牧環境技術支援グループ)と6つのULDER(地域農村開発グループ)に対し、環境に配慮した農業体系の適切な助言を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 一般的事務機器、事務用品。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 主たる同僚は、農村開発行政官、40歳代の男性、農業技師。その他、農牧環境技師、男性5名。男女の農牧技術支援専門職15名。

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)
 スペイン語 ()
 英語 ()

6) 選考指定言語
 英語 (V/N: C)
 スペイン語 (V/N: C)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:()
 ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由:(同僚等と同等)
 ・経験 (実務経験) (5年以上) 経験理由:(実例の紹介、実例の応用が求められる)
 理由:()
 理由:()

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輦 単車 自転車

研修等 形態 P 現職教員特別参加制度

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(熱帯高原性) 気温(5~20) ℃位 電気安定 不安定 なし
 水道安定 不安定 なし
 電話インターネット可 通話可 不良 なし



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 21 日

要請番号(SL 333 - 11 - D - 09)

調査者名: 広井なおみ

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウルグアイ	職種 農業生産技術 (コード 1903) 指導科目 ステビア栽培・生産	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 24 / 2 2 / 3 /	年 月 から
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Cultivation and Production of Stevia				
開発課題 格差是正					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) コロニア県庁 (受入機関名)(英語) Colonia prefectual office				
	2) 配属先名 (日本語) 国際協力ユニット (英語) Unit International Relations and Cooperation				
	3) 任地 コロニア県 首都(モンテビデオ)から 西 方向 177 Km 主要都市(モンテビデオ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.7 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) コロニア県は面積6,102平方Km、人口119,266人。県庁所在地がコロニア・デル・サクラメントでユネスコの世界遺産に登録されている。観光、農業、牧畜(肉や乳製品)、港湾業が主産業である。都市と村落の格差を縮小するためのいろいろな地域開発が行われている。そのひとつとして、農村地帯の低所得地帯の婦人を対象とする有機栽培等の技術普及が行われている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コロニア県には18ヶ所の農村センターがある。各センターで低所得層の婦人たちに有機栽培(野菜、果物、ハーブ等)、そのビン詰、家庭料理等を教えている。ステビアは甘味があるので、砂糖の代用やハーブとして使用されており、小規模で生産されている。初歩的な栽培技術はあるが、さらに生産量を高めるための栽培、収穫、加工、マーケティングなどの技術が不足している。日本がステビアの栽培方法を世界に紹介していることを知り、今回の要請がだされた。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・ステビア (Stevia rebaudiana) 栽培方法技術移転。 ・ステビア収穫、加工等の指導。 ・ステビアの甘味料以外の利活用方法。 ・ステビア栽培普及。 ・他に有機野菜、果樹などの栽培をもっとも良くする方法を学びたい。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 オフィス、机、固定電話、プリンタ、スキャナ、消耗品等。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先調整役: 国際協力ユニット・農村家族及び生産者アドバイザー、女性、40代、農学者。 指導対象者: 農村地帯の低所得地帯の婦人。		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由:(活動に必要であるため) ・経験 (指導経験) (4年以上) 経験理由:(一般住民に指導できること、理由:()理由:()				
活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			研修等	形態	現職教員特別参加制度
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地域	気候(温暖) 気温(3~34℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
電域	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし				

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 5 月 27 日

要請番号(SL 048 - 11 - D - 01)

調査者名: 桑園 いづみ

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 農業土木 (コード 1201)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 2
	指導科目 灌漑施設整備			2	/
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英) Irrigation Management			3	/
開発課題 農業インフラ整備					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests				
	2) 配属先名 (日本語) 農業局土木課 (英語) Engineering Division, Department of Agriculture				
	3) 任地 ティンブー 首都(ティンブー)から 北 方向 0 Km 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は全20郡の灌漑、農道、農業施設の予算、設計、施工の支援や監理を行っている中央機関である。我が国の農道架橋プロジェクトが2011年から開始し、年間予算は10万ドルである。第10次5か年計画において、貧困削減のためには農村道路建設の重要性が強調されており、総延長3000kmの建設計画を元に、現在大規模に農道の建設を実施している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブータンでは急峻な山間部が多いため、農道建設において崩落、土砂崩れが多い。現在1名のシニア海外ボランティアが農道建設に対する工法の指導、研修を通じ、設計方法の指導などを行っているが、今後農道の指導とともに灌漑に対する指導も急務となってきた。農道同様、多くの灌漑施設も崩落、土砂崩れによる被害を受けており、灌漑技術者も不足しているため水田用水が適切に得られていない。これらの背景から、水田への灌漑について土木課の技術者に研修、指導するために要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 農業局土木課のエンジニアに対し、以下の指導を行う ・川からの取水方法とその施設設計 ・水田近くに設置するため池(高さ5m以下)の設計 ・洪水や土砂崩れにあった灌漑施設の補修に対する助言 ・可能であれば、農道補修に関する助言				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性12人:チーフエンジニア~アシスタントエンジニア(20~50代、女性1人) 指導対象者 農業局土木課エンジニア(20~40代) 業務経験1~20年		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)				
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由:(技術指導に必須) ・経験 (実務経験) (10年以上) 経験理由:(現場での指導に必須) 理由:() 理由:()				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(0~30℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○HSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

要請番号(SL 303 - 11 - D - 06)

調査者名: 隈部ビクトル

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼン チン	職種 農業土木 (コード 1201)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 農畜産業用地理情報システム			2	24 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英) GIS for Agricultural Use			3	/
年 月 から					
開発課題 自然資源保護					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院 (受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technologies - INTA				
	2) 配属先名 (日本語) 国立農牧技術院ラ・リオハ農業試験場 (英語) INTA - La Rioja Experimental Station				
	3) 任地 ラ・リオハ州チャミカル市 首都(ブエノスアイレス市)から 北西 方向 1060 Km 主要都市(ラ・リオハ州ラ・リオハ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1956年設立の農牧水産食糧省傘下の独立行政法人で、天然資源と環境の保全、農牧業の研究開発・人材育成、生産者への普及業務などを実施。国内各地に15の地域センター、47農業試験場、4研究センターを有し、各種研究開発や農産物の競争力向上、農民の生活向上等の各種プロジェクトを実施している。JICAの協力は、現在2名のSVが活動中の他、第三国研修も実施している。http://www.inta.gov.ar				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) INTAラ・リオハ試験場は、チャミカル(Chamical)市にあり、ラ・リオハカタマルカ地域を含み、地理情報システム、リモートセンシング及び衛生画像等技術を活用した「社会経済・環境情報のシステム化」と称する地域プロジェクトを実施中である。本計画は、自立発展性を目指した戦略及び土地利用計画に貢献するために、社会経済と環境情報の整理、アップデート及び普及を目的としている。活動としては、①既存情報の収集、整理及びシステム化、②選定された分野に関する情報のアップデート化、③システム化された情報の普及、である。				
	2) 期待される具体的業務内容 生活環境が厳しい地方都市(人口1万人)に居住し、以下の活動を行う。 ①対象地域における天然資源の調査 ②試験場の地理情報システム・リモートセンシングチームとの意見・情報交換 ③植物生産計算のための衛星画像の分析及びGISのレイヤー構造作成 ④動的モデルの策定 ※ INTAカタマルカ試験場へ巡回指導の可能性あり				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン及び関連ソフトウェア(Erdas, Arc-GIS, Stella等)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 天然資源技師1名(40代、修士課程卒、プロジェクトコーディネーター) 天然資源技師1名(40代、修士課程卒、GIS専任担当) 農業技師1名(30代)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input checked="" type="checkbox"/> スペイン語 (レベル: B)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)				
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由:(対象分野が農業である) ・経験 (実務経験) (5年以上) 経験理由:(GIS等における経験が必要) 理由:() 理由:()				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 域	気候(乾燥)) 気温(0~40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○ESV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 8 月 1 日

要請番号(SL 303 - 11 - D - 09)

調査者名: 木田 克人

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 農業機械 (コード 1202) 指導科目 農業機械試験・規格化	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Standardization of Agri-machinery			2	24 / 2
			3	/	年 月 から

開発課題 アルゼンチン その他 開発課題

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 国立工業技術院 (受入機関名)(英語) National Institute of Industrial Technology (INTI)
	2) 配属先名 (日本語) 国立工業技術院ロサリオセンター (英語) INTI - Rosario
	3) 任地 サンタフェ州ロサリオ市 首都(ブエノスアイレス市)から 北西 方向 300 Km 主要都市(ロサリオ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国政府は、農業機械部門(約600社)を輸出ポテンシャルの高い部門として位置付け、同部門の競争力強化に向けた支援策を講じている。農業機械工場の約40%が存在するサンタフェ州にある配属先は、2008年4月から「アルゼンチン農業機械製造業者・生産性の再編成」と題し研究を続けており、2009年、農業機械製造業者のニーズを把握し、助言するグループを形成した。http://www.inti.gov.ar

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農業機械に対する公的機関による統一的な検査・評価体制が未整備であり、農業機械の品質・性能に対する保証措置が取られていないため、SVIには、アルゼンチン農業製造業者の現在の能力を判定し、農業機械の保証に関する検査方法及び評価基準の策定、適用に向けたアクションプランの作成を期待している。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・ INTIと外部機関の能力の連結を図り、検査方法及び評価基準を策定し、農業機械保証システムを構築する ・ 現行の国内・国際基準に沿い、ユーザーのニーズを満たすような保証システムを構築する ・ 効率性、省エネ、環境保全の観点に合った、農業機械の製造を促進する ・ 研修、技術移転、調査、製造工程における開発を通じて農業機器製造業者の競争力を高める	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ノートブック型パソコン、カメラ	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 機械技師、60代、男性 電気機械技師、40代、男性 機械技師、食品専門家、30代、男性	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・ 教諭免許 () ・ 性別 () 性別理由:() ・ 学歴 (大卒) (機械工学) 学歴理由:(指導対象者の技術・知識レベルに対応) ・ 経歴 () () 経歴理由:() ・ 農業機器製造実務経験 理由:(指導対象者の技術・知識レベルに対応) 理由:()	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温暖) 気温(0~30℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 15 日

要請番号(SL 318-11-D-02)

調査者名: 櫻井 国弘

国名	職種/指導科目 (コード 1702)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エクアドル	職種 植林	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 植林計画			2	24 / 2
	職種(英) Afforestation 指導科目(英) Afforestation Planning			3	/

開発課題 地域社会の開発促進・基礎インフラ整備

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) チンボラソ県地方分権自治政府(県庁) (受入機関名)(英語) Decentralized Autonomous Government of The Province of Chimborazo
	2) 配属先名 (日本語) チンボラソ県地方分権自治政府(県庁) (英語) Decentralized Autonomous Government of The Province of Chimborazo
	3) 任地 チンボラソ県リオバンバ市 首都(キト市)から 南 方向 190 Km 主要都市(リオバンバ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国山岳地域中央部に位置するチンボラソ県は、人口約45万人の60%を先住民が占め、その内の92%は基本的人間ニーズが満たされていない貧困層であると言われている。県庁では、貧困対策(住民の生活向上)を最重要課題とし、インフラ整備、農業生産力の向上、環境保全、組織強化などに取り組んでいる。年間予算約50億円。JICA専門家3名、SV5名が活動中。世銀、KOICAなど国際機関や外国からの援助あり。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 県内の森林資源乱用は、森林崩壊、土壌流亡、水資源の減少、生態系の変化などを引き起こし、農業・林業従事者への悪影響や崖崩れ、冠水などの災害を引き起こしている。県庁は環境保全を優先課題のひとつとし、土、空気、水の保護のため、植林、荒地の回復と維持・管理、農地回復、代替エネルギー(風力、太陽光発電)導入などのプロジェクトを進めている。今後は荒地の回復と維持・管理に更に力を注いでいく予定であるが、専門性を持った人材が不足しているため、これらの人材育成を目的にボランティアが要請された。前任者は、農村部における植林プロジェクトに関与し、育苗、挿し木、植林計画などの指導を行っている。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先環境部において、以下の活動を行う。 ①山間部荒地に関する課題を整理し、改善計画作成に協力する。 ②県内の森林資源と水資源の取り扱いに関する基準(法令)作成に関する助言を行う。 ③保護植林計画に関する助言を行う。 ④水資源に関する調査を行い、改善案作成を支援する。 ⑤河川流域における土壌流出防止に関する改善案作成を支援する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 機、電話、PC、移動用車両

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・環境部長: 男性、40代 ・環境部職員: 男性、30代	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> スペイン語 (レベル: C)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 (大卒) (林学) 学歴理由:(林学一般に関する知識が必要) ・経歴 (実務経験) (10年以上) 経歴理由:(調査、分析、改善案策定が必要のため) ・森林計画に関する実務 理由:(実地活動と法令作成にも協力するため)		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域 気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○ESV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 15 日

要請番号(SL 112 - 11 - D - 03)

調査者名: 中曽根徹治

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マーシャル ル	職種 水産資源管理 (コード 1801)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 水産物流通基盤整備			2	24 / 2
	職種(英) Fishery Resource Management 指導科目(英) Fishery Products Distribution Management			3	/
年 月 から					
開発課題 産業振興					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) マーシャル諸島海洋資源局 (受入機関名)(英語) Marshall Islands Marine Resources Authority (MIMRA)				
	2)配属先名 (日本語) マーシャル諸島海洋資源局 (英語) Marshall Islands Marine Resources Authority (MIMRA)				
	3)任地 マジュロ環礁ウリガ地区 首都(マジュロ)から 北 方向 0 Km 主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、国内の全ての海洋資源の管理を目的として1988年に設立された。局長を筆頭に、沖合漁業部、沿岸漁業部、漁業訓練センター、管理部からなり、離島支部も含め、約60名のスタッフがいる。年間予算は約120万ドルで、2010年3月まで日本の海外漁業協力財団(OFCF)から長期専門家が派遣されていた。日本の水産無償資金協力によってマジュロ環礁魚市場が建設されており、2011年上旬より稼働予定である。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、離島地域における漁業開発を支援し、都市部と離島部の経済格差の是正や、持続的かつ効果的な水産資源の活用に取り組んでいる。その一環として、日本政府の水産無償によるマジュロ環礁魚市場建設や集漁船2隻の供与を受け、今後、離島を含めた水産物の効果的な流通システムの再構築を目指すこととなる。配属先はJICAおよびOFCFに対し、新魚市場を含めた水産設備の維持管理や集魚ネットワークの構築、離島における新たな水産資源開発等の支援を求めている。配属先及び関係者間で協議した結果、SVの派遣要請に至った。				
	2)期待される具体的業務内容 マジュロ環礁魚市場に常駐し、以下の業務を実施する。 ・マジュロ環礁魚市場を中心とした集魚ネットワークシステム(外島拠点を含む)運用計画のレビューを行い、計画の実施に向けた助言や課題分析を行う。なお、同計画は各施設の維持管理、設備(集魚船を含む)稼働計画、漁獲物の販売や流通を含む。 ・マジュロ環礁魚市場スタッフの能力育成について助言を行う。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特に無し				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル OIFM(離島地域集魚担当) Manager 男性 Chief Fisheries Officer 女性 Assistant Chief Fisheries Officer 男性		5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (マーシャル語)		
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 () () 学歴理由:() ・経歴 (実務経歴) (5年以上) 経歴理由:(実践的な知識・技術が求められるため) ・途上国での水産物関連業務経歴 理由:(実践的な知識・技術が求められるため) 				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(海洋性熱帯気候) 気温(28℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 20 日

要請番号(SL 060 - 11 - D - 05)

調査者名:小澤重久

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 養殖 (コード 1803)	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 淡水魚養殖			2	/
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Aquaculture of Cold Water Species			3	/
年 月 日 から					
開発課題 農業・農村開発					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives				
	2) 配属先名 (日本語) ネパール農業研究評議会(NARC)水産研究部 (英語) Fisheries Research Division, Nepal Agriculture Research Council				
	3) 任地 ライトプール郡ゴダワリ 首都(カトマンズ)から 南 方向 15 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はネパール政府設立の淡水の漁業や養殖に関する実践的研究を行う研究機関で、稚魚生産・供給、魚病診断等の業務を行っている。過去、JICAの支援により実施されたニジマス養殖では拠点の役割も果たし、現在も全国各地のニジマス養殖業者を支援している。さらに前任SVの支援によりネパール固有の淡水魚であるアサラ(コイ科の魚)の養殖技術開発を開始している。年間予算約720万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者はニジマス生産の向上をめざし水質改善に取り組んだ。ネパールにあるレンガ等を利用した簡易フィルターを作成し配属先の養魚場でモデル実験を行い、現在改良を行いつつ普及を開始している。またアサラの養殖では小型のアサラの完全養殖に成功し、養殖事業化に向けて技術の確立とアサラ(Asala, Shizothorax spp)の改良に取り組んでいる。アサラはスノウトラウトと呼ばれ、ネパール山間地域に広く生息する貴重な蛋白源である。近年急激にその数が減じており、養殖技術の確立が求められていた。ボランティアは前任者が手がけた、ニジマス養殖の生産向上やアサラ養殖技術開発の取り組みを引き継ぎ配属先を支援する。				
	2) 期待される具体的業務内容 以下の配属先の活動を支援する。 ①アサラ養殖技術の開発を通じた新魚種養殖技術確立を支援する。 ②配属先職員及び個人養殖業者のニジマス種苗生産向上に協力する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC、生物顕微鏡、ディープフリーザー、旧式乾燥飼料製造器、粉砕器、電子天秤等				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 部長 50代男性 研究者 30~50代 男女 3名 技官 40~50代 男性 3名		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別()性別理由:() ・学歴(大卒) (業務関連分野) 学歴理由:(淡水魚養殖の専門知識が必要) ・経験(実務経験) (5年以上) 経験理由:(養殖業者を指導するため) 理由:() 理由:()				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 12 日

要請番号(SL 106 - 11 - D - 02)

調査者名: 柴崎 栄司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
	(コード 1803)			JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 養殖	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 養殖			2	24 / 2
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Aquaculture			3	/
年 月 日から					
開発課題 地方・離島部の生計向上					
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育国民遺産文化芸術青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, National Heritage, Culture and Arts, Youth and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学、島嶼海洋学部 海洋学科 (英語) Marine Studies, Faculty Of Islands and Ocean, University of South Pacific				
	3) 任地 スバ 首都(スバ)から 北東 方向 7 Km 主要都市(スバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 南太平洋域内の12か国により1969年に設立された総合大学。海洋学科はフィジーだけに設立され、周辺国をリードする存在である。水産加工、養殖、資源管理、海洋生物など水産、海洋全般に関する教育、研究を実施している。施設は水産無償資金協力により建設、沿岸資源管理JICA専門家、水産加工SV、養殖SVが派遣された。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) フィジーのオニテナガエビ養殖は、種苗供給が安定しない点が課題となっている。前任SVは、フィジーで一番大きなオニテナガエビ養殖場での自家種苗生産を可能としたが、振興の鍵となる民営種苗生産場が、新たに開設される兆候は見られない。このため、現任SVは民営種苗生産場開設を目標として、オニテナガエビの種苗生産技術を簡略化する活動をしており、後任SVは民営のオニテナガエビ種苗生産場の開設と運営を指導し、オニテナガエビの養殖振興を実現するのが要請理由の一つである。また、主にポストグラデュエイトの学生が実験を行っており、同僚講師と共に学生を指導できる人材が求められているのもう一つの理由である。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①オニテナガエビ養殖の育苗生産技術の普及 ・配属先でのオニテナガエビ種苗生産の実施(技術普及のための実践経験) ・水産の政府関係者との連絡・調整 ・ティラピア養殖業者や村落部でのオニテナガエビ種苗生産技術の助言(種苗生産施設設計の支援等) ②学生の研究テーマ設定へのアドバイス、実験指導 ※2011年9月より、同大学へ沿岸資源管理のJICA専門家が派遣予定であり、地方・離島部でのオニテナガエビ養殖の普及といった活動での連携が期待されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 水中ポンプ5.5kw2機、圧力式砂ろ過器1000L、紫外線滅菌装置0.44kW、ブロワー2機、FRP飼育水槽15個、海水貯水タンク4個、海水循環式用タンク6個、藻類培養室2.4m×2				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル シニア講師1名(コロンビア人、男性、博士、40代)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ()		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)				
	・教諭免許()・性別()性別理由:() ・学歴()学歴理由:() ・経験(実務経験)(10年以上)経験理由:(育苗生産及び技術指導の経験が求められる) ・エビ/蟹/ナマコ/真珠貝/ワムシ等養殖経験理由:(各種養殖経験が実践指導に有効)				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地域	気候(熱帯海洋性気候)気温(15~35℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
況域	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○HSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 24 日

要請番号(SL 315 - 11 - D - 06)

調査者名: 綿引 純男

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
コロンビア	職種 養殖 (コード 1803)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 貝類養殖			1	24 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Fish Culture			2	24 / 2	
指導科目(英) Shellfish Pisciculture	3	/				

開発課題 国際競争力の向上に向けた基盤整備

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) マグダレナ大学 (受入機関名)(英語) University of Magdalena
	2) 配属先名 (日本語) 水産漁業開発センター (英語) Fishery Development Center
	3) 任地 マグダレナ県タガンガ 首都(ボゴタ)から 北 方向 950 Km 主要都市(サンタマルタ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.25 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マグダレナ大学は1962年に設立された国立大学であり、年間予算はおよそ50億円。工学部内に設けられた水産漁業開発センターには6つの研究室が設けられており、そのうちの軟体動物、藻類研究室がボランティアの勤務先となる。同研究室の年間予算はおよそ140万円。主に、軟体動物、藻類の研究を行うと共に、地域開発のための技術移転、支援も地域漁民へ行っている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2000年の軟体動物、藻類研究室設立後、蛸や貝類の養殖技術や生産に係る調査・試験研究等、13以上のプロジェクトが実施されてきた。また、これらの更なる向上を目指し、同大学の要請により、JICAは2009年から日本・チリパートナーシッププログラムの協力案件として「貝類養殖技術プロジェクト」を実施中である。現在チリ人専門家による指導及び研究員のチリでの研修を行っているが、チリ人専門家の指導期間は短く、パートナーシップ協力の更なる強化を図り、持続的な貝類養殖技術開発を支援するために長期的な協働の出来るボランティアの要請に至った。更なる養殖技術を現場で適切に応用することを目的としている。
	2) 期待される具体的業務内容 貝類養殖(主にカリブ海産のイタヤガイ科:Pectinidaeの貝)に関し、以下の活動を行う。 ・繁殖技術、飼育管理、商品化等に関する技術支援、および助言 ・現在実施している生産分野の問題解決へ向けた研究開発 ・生産向上、科学技術出版に関する支援 ・現地漁業者への技術移転支援 ・その他、改善すべき点の支援
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種実験室は整備されている。顕微鏡、実験槽もあり。

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教授3名、研究員2名(男3、女2)、30~50代、経験7年前後、プロジェクト臨時職員、インターン生3名程度(年齢、技術レベルは様々)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) ☐ スペイン語 (レベル: C)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由:(大学勤務のため) ・経験 (実務経験) (10年以上) 経験理由:(同僚と同等以上) 理由:() 理由:()		

資格条件	活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
	○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(熱帯) 気温(25~35) °C位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 24 日

要請番号(SL 315 - 11 - D - 04)

調査者名: 綿引 純男

国名	職種 / 指導科目 (コード 1604)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビア	職種 水産物加工	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 水産物加工			2	24 / 2
	職種(英) Aquatic Products Processing 指導科目(英) Fish Processing			3	/
年 月 から					

開発課題 環境調和型社会の実現に向けた取り組み

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 環境・住宅・国土開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Environment, house and Territory Development
	2) 配属先名 (日本語) 諸島持続開発公社(CORALINA) (英語) Sustainable Development Corporation of Archipelago-CORALINA
	3) 任地 サン・アンドレス、プロビデンス、サンタ・カタリーナ県サン・アンドレス市 首都(ボゴタ市)から 北西 方向 1780 Km 主要都市(サン・アンドレス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1993年に創設された、環境・住宅・国土開発省の出先機関。任地である県内の諸島の自然保護、自然資源の管理や持続的開発を担う。配属先業務の3本柱は、1. 環境汚染の低減、2. 生態系と自然資源の管理・運用、3. 人口密度コントロールであり、人材育成や地域住民の生活レベル向上のための講習会なども実施している。正職員は55名、契約職員約150名。年間予算は約5億円。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 活動対象となる地域は珊瑚礁保護のため、網を使用した漁が禁じられ、漁民は一本釣りや延縄漁法により漁を行っている。漁場は沿岸から遠く、燃料代がかさんでいるのが現状である。平成22年度短期SV(漁法指導)が本年1月から6ヶ月間活動し、主に中層浮漁礁による沿岸での集魚技術を指導し、一定の成果が得られている。現在は漁獲に対応した加工技術に乏しく、付加価値を付けられずにいる。漁獲物の加工及び同販売に関する技術支援が求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先漁業担当者と地元漁業組合の零細漁民に対し、以下の指導・助言を行う。 ・地域の魚種に適した加工技術を開発し、付加価値をつけて市場販売を推進する。 ・漁獲の保存方法の改善のため、冷凍技術について助言する。 ・魚肉ソーセージ等、具体的な加工技術を指導する。 ・現在廃棄している魚の頭や骨を肥料にするなど、その利用法を検討する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 配属先では一般的事務機器が使用可。実地指導等は漁協や漁民の漁船などを使用する。JICA支所より、衛星電話の貸与有。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚は海洋生物学士の30代男性及び配属先関係者。指導対象は漁協の一般漁民約500名。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () 英語 ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:() ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由:(配属先同僚と同等以上が必要) ・経験 (実務経験) (5年以上) 経験理由:(実施指導、技術の応用が求められる) 理由:() 理由:()

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)			
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)			
概地況	気候(熱帯) 気温(20~35) ℃位	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	

